



みんながまもる土岐川・庄内川

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALSいのちとくらしをまもる
防 災 減 災

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和 7 年 7 月 9 日
国土交通省中部地方整備局
庄内川河川事務所

小・中学生を対象に水陸両用ブルドーザの現場見学会を開催します

～流域治水模型実験や VR 浸水体験も！～

小・中学生とその保護者を対象として庄内川の治水対策工事の現場見学会を実施します。全国に5台しかない水陸両用ブルドーザによる河川の土砂を掘削する工事を見学いただけます。庄内川で水陸両用ブルドーザの工事を見ることができるのは、今年が最後となる予定です。さらに、流域治水の模型実験やVR浸水体験も実施します。

1. 日時

令和7年8月21日（木）9:30～12:00、8月22日（金）9:30～12:00

2. 見学場所

- ①水陸両用ブルドーザ見学：日比津地区河道掘削現場（名古屋市中村区枇杷島町）（別紙1参照）
- ②模型実験・VR体験：庄内川河川事務所（名古屋市北区福德町5-52）

3. 対象者

小・中学生とその保護者 各回20名程度（先着順）

※小・中学生のみの参加はできません。

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、多治見市政記者クラブ、恵那記者会

5. 取材について

現地取材を希望される報道機関におかれましては、各見学会実施日の前日12時までに、別紙2「取材登録書」をメールにて提出をお願いします。また、報道関係者の方々におかれましては、直接、見学会場まで移動をお願いします。（ご希望の見学会場についてご回答をお願いします。）

【問い合わせ先】

庄内川河川事務所 副所長

やまだ てつし
山田 哲士工務課長 ひびの まさたけ
日比野 匡太圭

電話（052）914-6912

水陸両用ブルドーザ見学
位置図



令和 7年 月 日

「現場見学会」取材登録書

「現場見学会」について、本「取材登録書」をメールにて提出をお願いします。

E-mail 送信期限：各見学会実施日の前日12時まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者等

(1) ご氏名 _____

(2) 連絡先 TEL _____

(3) 取材人数 _____ 人

(4) 取材車両
の種類等 _____

(5) 希望する
見学会会場 ①水陸両用ブルドーザ現場見学 ②模型実験・VR 体験

※①を希望の場合は別紙1の位置図の見学実施場所へ

②を希望の場合は庄内川河川事務所へお越しください。

3. 送信先 (E-mail) cbr-shokoumu@mlit.go.jp

4. 問い合わせ先

庄内川河川事務所 副所長

やまだ てつし
山田 哲士

工務課長

ひびの まさたけ
白比野 匡太圭

電話 (052) 914-6912

庄内川の

水中ブルドーザを見に行こう

見れるのは
今年が最後！

会いに来てね！

日時

8月21日(木)

22日(金)

9:30~12:00

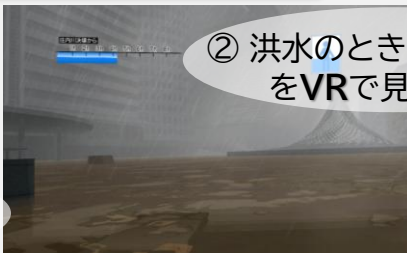
集 合 : 庄内緑地グリーンプラザ
 定 員 : 各日20名程度(先着順)
 対象者 : 小・中学生とその保護者
 ※小・中学生のみの参加はできません

内容

①ブルドーザ見学・操縦体験

②模型実験・VR浸水体験

※VRゴーグルの体験は中学生以上が可能です

① 大雨からまちを守るために、
川ではどんな工事をしているの？② ダムのはたらきを、雨に
見立てたビーズで実験してみよう② 洪水のときのまちの様子
をVRで見てみよう

参加特典

流域治水缶バッジ
・クリアファイル流域治水
カード申し込み締切
8月8日(金)まで

申し込み方法は裏面をご覧ください

主催 国土交通省 庄内川河川事務所

協力 株式会社山田組



申し込みはこちらから

内容	河川の土砂を掘削する水陸両用ブルドーザの現場見学や操縦体験ができます。 流域治水模型による実験や、中学生以上はVR浸水体験もできます。												
開催日時	《全2回》 令和7年8月21日(木), 8月22日(金) いずれも9時30分集合～ 12時00分頃解散予定												
見学場所	①水陸両用ブルドーザ見学: 日比津地区河道掘削現場(名古屋市中村区枇杷島町) ②模型実験・VR体験: 庄内川河川事務所(名古屋市北区福德町5-52)												
集合・解散 場所	庄内緑地(庄内緑地グリーンプラザ) ※見学現場①、②への移動は、庄内川河川事務所のマイクロバスを使用します。 ※集合場所の詳細は、後日受付結果の連絡と併せてお知らせします。												
集合時間	9時30分	当日の流れ <table><tr><td>9:30</td><td>庄内緑地 集合</td></tr><tr><td>10:00～</td><td>水陸両用ブルドーザ見学</td></tr><tr><td>10:45～</td><td>庄内川河川事務所へ移動</td></tr><tr><td>11:10～</td><td>模型実験・VR体験</td></tr><tr><td>11:45</td><td>庄内川河川事務所を出発</td></tr></table>		9:30	庄内緑地 集合	10:00～	水陸両用ブルドーザ見学	10:45～	庄内川河川事務所へ移動	11:10～	模型実験・VR体験	11:45	庄内川河川事務所を出発
9:30	庄内緑地 集合												
10:00～	水陸両用ブルドーザ見学												
10:45～	庄内川河川事務所へ移動												
11:10～	模型実験・VR体験												
11:45	庄内川河川事務所を出発												
定員	20名程度(各回)												
対象者	小・中学生とその保護者 ※小・中学生のみの参加はできません。												
参加費	無料												

申し込み方法

右のQRコードから、申し込みフォームに以下①～④をご入力ください。

申し込みフォームURL:

<https://forms.office.com/r/SKT8WypufA>

- ① 参加者(子ども)の氏名・学年
- ② 同伴する保護者の氏名
- ③ 連絡先(電話番号及びメールアドレス)
- ④ 参加希望日(第2希望まで記載可能)



↑申し込みは
こちらから

- 受付は先着順とさせていただきます。
- 受付結果通知は、メールにてご連絡させていただきます。
- 申し込み締切は8月8日(金)までとさせていただきます。

参加時の注意事項

◆お申し込みの際は、以下の注意事項すべてに同意されたものとさせていただきます。

1. 現場の都合等により、見学内容が変更になる場合があります。
2. 悪天候の場合は中止となる場合がありますので、ご了承ください。
3. 集合場所までの交通費は参加者側でご負担ください。
4. 動きやすく汚れてもよい服装で、運動靴等を着用してください。
5. VRゴーグルを利用した体験は中学生以上とさせていただきます。
小学生以下のお子様はモニターにて映像をご覧ください。
6. お預かりした個人情報本見学会のみに使用し、第三者への提供はありません。
7. 見学会の様子は、国土交通省の広報活動に使用させていただく場合がございます。
8. 当日はマスコミ取材がある場合があり、見学会の様子が放映・掲載される場合がございます。

庄内川で水陸両用ブルドーザの工事を見られるのは今年が最後となる予定です
ぜひこの機会にご参加ください！

お問い合わせ先

国土交通省 庄内川河川事務所 工務課 現場見学担当者
住所: 〒462-0052 名古屋市北区福德町5-52
電話: 052-914-6912



遠隔操縦式水陸両用ブルドーザ

水陸両用ブルドーザ(通称 水ブル)ってどんな機械？

◆水陸両用ブルドーザはこうして生まれました

1968年建設省(現国土交通省)指導のもと、(株)小松製作所によって、世界初の水陸両用ブルドーザD125-18B(作業水深3m型)が開発されました。(右写真)



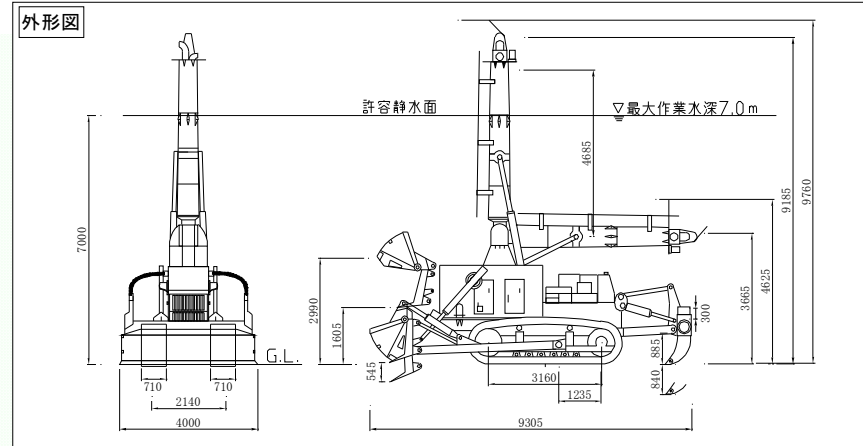
現場デビューとなった富山県神通川での水中掘削作業は、『建設機械の遠隔操作』という点で、無人化施工最初の工事とも言われております。

その後、数々の改良・改造を繰り返し、D155W-1(作業水深7m型)として現在に至っております。これまで、水陸両用ブルドーザは、36台(うち海外14台)製造され、現在5台の水陸両用ブルドーザが全国各地で活躍しております。

◆水陸両用ブルドーザとはこんな機械です

水陸両用ブルドーザは、水中掘削用機械として、水陸両用性とラジコン操作機能を組み合わせ、開発・実用化されたものです。施工実績として、河川・海岸・漁港および港湾の水中土木作業に使用されています。また、水陸両用ブルドーザは陸上で使用されているブルドーザを単純に水密化したものではなく、水中作業に適応するために各種の安全感知センサーと警告装置、水圧に応じた機械の内圧調整機構等、様々な工夫がなされています。

重量・・・陸上43.5t 水中27.9t バケット容量・・・3.36m³ (3.8m³山積み)
操縦距離・・・～100m 感知センサー搭載(漏水・排水、オーバーヒート、傾斜、油圧低下他)
静接地圧・・・陸上95.1kN/m²(0.97kg/cm²) 水中(3m)58.8kN/m²(0.60kg/cm²)



◆河道掘削で濁りができますか？

河川内の土砂を掘削する場合、どのような方法で掘削しても、川の流れを止めずに、濁りを発生させない施工方法はあります。

私達はこれまでの施工経験を活かし、濁りを極力拡散させない方法で施工し、かつ短期間で終わるよう、河道掘削工事を行ってまいります。



◆河道掘削における水陸両用ブルドーザ工法の特徴

- ・作業船および陸上機械が入れない浅瀬域で作業可能
- ・無線遠隔操縦式により、運転員の安全が確保可能
- ・河川内仮設が不要なため、河積阻害せず経済的かつ安全
- ・土工機が大型なため、短期間で施工可能で経済的
- ・排土板で面掘削するので、仕上がり精度が高い(勾配可能)
- ・排土板のI⁷の装置により、水中の掘削土を逃さない
- ・作業船に比べ、余掘が少なくすみ経済的(薄層浚渫可能)
- ・アーカーを使用しないため、船舶の航行を阻害しない
- ・ダクト(吸排気塔)を倒すことにより、橋梁下作業が可能

◆施工事例



施工会社：株式会社 山田組

協力：青木あすなろ建設(株)名古屋支店